

事業所名		こども療育センターきらキッズⅠ（児童発達支援）				支援プログラム		作成日		2025 年	3 月	3 日
法人（事業所）理念		発達の気になる子どもとその家族が、いきいきと自分らしく生きていける社会、またすべての子どもとその家族が、お互いののびのびと育ちあえる地域社会作りに寄与する。										
支援方針		発達の気になる子どもに発達ニーズを満たす遊びを提供し、その家族の子育てを支援する療育を行う										
営業時間			10 時	45 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・排泄を含む身辺自立への支援 ・寒暖差に応じた衣服の調節に対する支援 ・友達と協力をしながら片づけができるようになる支援 ・通所時の身支度の習慣化への支援 ・自分の持ち物を自分で管理することへの意識づけへの支援										
	運動・感覚	・模倣運動が上手になるための支援 ・道具操作、両手の協調動作など、手先の使い方が上手になるための支援										
	認知・行動	・指示を理解し行動するための支援（言葉の意味を具体化、周りの言動への関心、指示への注目を持続など） ・色、物の名前、カテゴリー、数、形、数字、文字、左右の理解、記憶、空間認知向上への支援										
	言語コミュニケーション	・言葉以外的方法での意思表示に向けた支援 ・自分の意思が相手に伝わる喜びを経験できるような関わり ・スムーズなコミュニケーション成立に向けた支援（相手の関心を得る、相手に伝わったかに関心を向けるなど） ・思いを引き出し、言語化し、本人なりの表現へ導く										
	人間関係社会性	・本人の好きな遊びが他者との間で成立するのを助け、共有することを楽しめるように支援 ・感情のコントロールに向けた支援										
家族支援		支援場面を見学の上、現状と課題、関わり方についての相談援助を毎回の療育後に実施 半年に1回、個別懇談を実施（必要性があれば、適宜懇談会を実施）						移行支援		保育所等への移行について連絡調整、および相談援助を実施（移行前、移行後）		
地域支援・地域連携		在籍園との情報共有 必要性があれば、園訪問を実施						職員の質の向上		毎日の療育を振り返り、発達課題の捉え方、関り方について検討 半年ごとに支援会議を実施 虐待防止、身体拘束の適正化、感染症、災害などの法廷研修を実施 年に数回、法人内研修を実施 外部研修等の情報提供をし参加を促す		
主な行事等		季節に合わせた工作（七夕、ハロウィン、クリスマス、正月など）を行い、季節感が感じられるように支援 地震、火災、水害、不審者対応などの避難訓練を実施 保護者向けの就学を考える座談会を実施										